Wood Journey vol.17

ウッド ジャーニー

あちこちのざき⑦

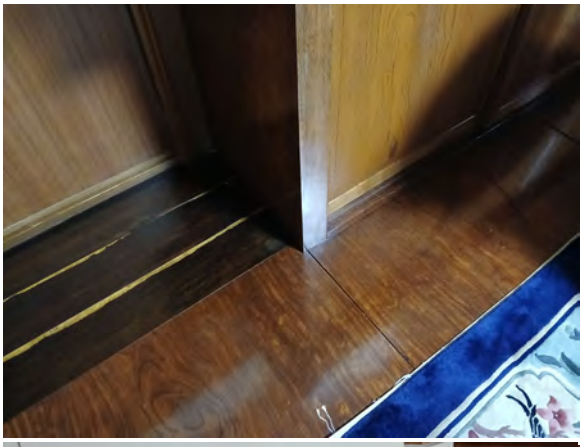
あちこちのざき（実績紹介）｜一般家庭から有名建築まで、建材で支えてきた岡山の街づくり

■材木屋の自宅の使い方ーその３

今回は洋間を紹介します。

かつては部屋の殆どが和室で、応接間として玄関横に洋間を作りました。10 帖の間です。

絨毯の下で見えにくいのですが、幅 1m長さ 5mの一枚板を４枚並べています。材木はアフリカ紫檀とも呼ばれる「ブビンガ」で、カウンターとしても使っています。



◆こちらの写真をぜひカラーでご覧下さい！
スマホのカメラで下記ＱＲコードを読み取るだけ↓

その１

その２

その３

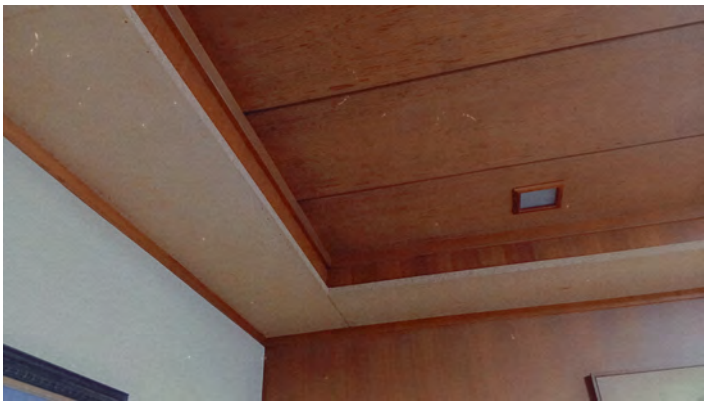
お風呂はかつては木風呂でした。
マキ（槇）が一番耐水性があるのですが、さすがに 60 年は持ちませんで、近年リフォームしました。

ー 材木屋が見た木材と建物 ー

㈱ WWN のざき会長　野﨑 和良

壁材はチークの突板です。
今や壁、天井は殆どクロス、壁紙ですが、こうした突板も良いものですよ。

天井板は屋久杉の突板と和洋折衷にしています。
最後に設備も紹介します。



トイレの床板はクス（樟）の一枚板です。
クスは樟脳にも使われますが、匂い消しの作用もあります。

以上で材木屋の建てた木の家の紹介を、終わらさせていただきます。長い間ありがとうございました。